

第5学年 国語科学習指導案

1組 児童 男子19名 女子16名 計35名

指導者 齋藤 誠一

1 説明のしかたの工夫をとらえ、意見文を書こう

教材「天気を予想する」著者名 武田 康夫

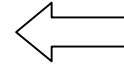
「グラフや表を引用して書こう」

(光村図書5年下)

<身に付けたい力>

- 書かれ方の特徴に着目し、筆者が伝えたいことを考えながら読み取る力
- 筆者が伝えたいこと、論の進め方、図表などの活用について感想を発表し合い、自分の考えを広げたり深めたりする力
- 事柄を整理し、引用したり図表やグラフを用いたりするなどして、自分の考えを書く力

言語活動



グラフや表を引用して意見文を書く

2 単元について

第5・6学年における読むことの目標は「目的に応じ、内容や要旨をとらえながら読む能力を身に付けさせるとともに、読書を通して考えを広げたり深めたりしようとする態度を育てる」である。また、書くことの目標は「目的や意図に応じ、考えたことなどを文章全体の構成の効果を考えて文章に書く能力を身に付けさせるとともに、適切に書こうとする態度を育てる」である。

本単元では、書かれ方の特徴や、論の進め方、図表などの活用について考えを発表し合い、自分の考えを広げたり深めたりする。また、この学習を生かした言語活動を「グラフや表を引用して意見文を書こう」と設定する。この言語活動を通して、「天気を予想する」で学習した筆者の論の展開や図表や写真の活用を参考に、読み手に対して自分の考えを、より説得力のある理由や根拠を伴った意見文を書く力を育てる。このように、「読むこと」と「書くこと」を組み合わせることにより、「読むこと」で身に付いた力を使って意見文を書くことが、より効果的であると考え、領域を複合させた単元を構成した。

本教材「天気を予想する」は、児童にとって身近でありながら、その仕組みはよく知られていない天気予報を題材としている。前半では、天気予報の仕方や科学技術の進歩について、図表や写真を使って説明し、事実を明確にしたりイメージを持たせたりしている。後半では、予想することの難しさを挙げ、それらについて、グラフと文章を対応させながら筆者の考えの根拠とし、説得力のある説明をしている。そのため、児童が興味をもって読み進めたり、文章の構成や資料を使うことの意味や効果について理解したりする学習に適した教材である。「グラフや表を引用して書こう」は、「天気を予想する」で学習したことを生かし、資料を用いて自分の考えを裏付けながら説得力のある文章を書く教材に適している。また、資料の活用の仕方や文章との対応のさせ方について、友達の文章を読み合い、交流することでも意欲的に活動することができる。

指導に当たって、はじめに学習の目的を意識させるために、「グラフや表を引用して書こう」で扱っている意見文を提示する。このような文を書くために、「天気を予想する」において、どのような文章構成で論の展開をしているのか、図表や写真の取り上げ方にはどのような効果があるのかを考えさせていきたい。

【単元の目標】

- 前半部分と後半部分の書かれ方の違いに着目し、筆者が伝えたいことを考えながら読むことができる。
- 筆者が伝えたいこと、論の進め方や図表や写真の活用などについて感想を発表し合い、自分の考えを広げたり深めたりすることができる。
- 目的や意図に応じて収集した事柄を、引用したり図表や写真を用いたりするなど、工夫して自分の考えが伝わるように書くことができる。

<単元の評価規準>

国語への関心・意欲・態度

- ・図表や写真の有効性を考えながら、進んで説明文を読んだり文章を書いたりしようとしている。

読む能力

- ・段落のつながりに着目し、筆者の表現の工夫を考えながら読んでいる。(1)ウ
- ・筆者の論の進め方、図表や写真の活用について考えたことを発表し合い、自分の考えを広げたり深めたりしている。(1)オ

書く能力

- ・目的や意図に応じて書く事柄を収集している(1)ア
- ・引用したり図表や写真を用いたりするなど、書き方を工夫して書いている。(1)エ
- ・書いたものを交流し合い、表現の仕方に着目して助言し合っている。(1)カ

言語についての知識・理解・技能

- ・意見文の構成要素を意識して文を書いている。(1)イ(キ)
- ・語句と語句との関係を理解している。(1)イ(ク)

<児童の実態>

児童はこれまで、説明的な文章の学習として、「大きな力を出す」「動いて、考えて、また動く」では、事実と考えを読み分けながら、段落どうしの関係を、「アップとルーズで伝える」では、写真と文章を対比させて読み、説明の仕方について考える学習をしてきた。また、「見立てる」「生き物は円柱形」では、文章の書かれ方や文章構成に着目して要旨をとらえる学習を行ってきた。これらの学習を通して、「読むこと」については、文章構成や説明の仕方の工夫、要旨をとらえることができるようになってきた。しかし、学習した内容を自分の表現に生かしたり、考えを発表し合い、自分の考えを広げたり深めたりすることは十分とはいえない。

隣同士のペア学習や生活班でのグループ学習では、自分の考えを述べることのできる児童は多いものの、それぞれの意見に対して自分の考えを述べたり、自分の考えを広げたりすることの難しい児童もいる。

3 学習指導計画（全10時間）

＜本単元における必要な既習事項＞			
・要旨 ・文章構成 ・説明の工夫			
時	目 標	学 習 活 動	評価規準（評価方法）
第一次 単元の学習のねらいを知り、学習の見通しを持つ			
1	「くらしについての意見文を書く」という学習のゴールを知り、学習計画を立てることができる。	○学習課題を設定し、単元の見通しを持つ。 ・例文を捉え、意見文のイメージを持つ。 ・例文と、図表やグラフや解説を除いた文と比較して、意見文における資料の有効性を考える。 ・学習計画を立てる。	【関】「くらしについての意見文を書く」という学習のゴールを知り、学習の見通しを持つとしている。（発言・ノート）
第二次 筆者の説明の工夫に対する自分の考えを読み深める。			
2	「天気を予想する」を読み、問いと答え、段落構成を捉えることができる。	○全文を読み、文章中の三つの問いと答えの関連を考え、書いてある内容を読み取る。 ・問いに対する答えを見つけ、文章構成図を作る。	【読】三つの問いとそれに対する答え、文章構成を読み取っている。（発言・ノート）
3	全体の要旨をまとめることができる。	○全体の要旨を読み取る。 ・最終段落から、全体の要旨をまとめる。	【読】最終段落から要旨をまとめている。（ノート）
4	表・写真・図・グラフの意図と効果という点に着目し、説明の工夫を読み取ることができる。	○筆者が表・写真・図・グラフを用いた意図や、文章中に数値が用いられていることの効果を考え、筆者の考えの根拠となっている事実について捉える。 【一人学び】 ・考えた効果について、ワークシートに書き込む。 【学び合い】 ・それぞれ考えた内容について話し合い、考えを深める。 ・表・写真・図・グラフと文章を結びつけ、関係を確認する。	【読】表・写真・図・グラフを用いた意図や数値が用いられている効果に気づいている。（発言・ノート）
5 本 時			
6	身近なものから、図表や写真が使われた文章を探し、資料の意図や効果について理解することができる。	○見つけてきた図表・写真を使った説明の効果について整理する。 ・説明の効果について書きまとめ、互いに交流する。	【読】図表や写真を使った説明の効果を整理している。（発言・ノート）
第三次 身についた力を活用して意見文を書く			
7	意見文の書き方を理解し、自分の考えを整理することができる。	○教科書を読み、意見文の文章構成を捉える。 ・例文や「グラフや表を説明するとき」を読み、問題提起と結論を書く。	【書】意見文の構成要素を理解し、問題提起や結論を書いている。（発言・ノート）
8	自分の用意した資料を意見文に引用できるように整理することができる。	○自分が用意した資料をもとに、内容を整理する。 ・用意した資料を読み直し、考えが裏付けられる内容を書く。	【書】用意した資料から、自分の考えを裏付ける内容を書いている。（ノート）
9	資料を効果的に使いながら、意見文を書くことができる。	○自分の考えを裏付ける資料を使いながら、意見を述べる文章を書く。 ・用意した資料を効果的に使いながら、意見文を書く。	【書】収集した表・グラフ等の資料を用いて自分の考えを書いている。（原稿用紙）
10	書いた意見文を交流し、効果的な資料の使い方を理解することができる。	○書いた文章を読み合い、意見や感想を発表する。 ・意見、理由、資料の視点から文章を読み合う。 ・単元全体の学習を振り返り、学習内容をまとめる。	【書】友達の文章を読んで、よい点を具体的に指摘している。（発言・ノート）
＜教材の発展＞			
6年「感情／「生き物はつながりの中に」		6年「『鳥獣戯画』を読む」	

4 本時の指導 (5 / 10)

(1) 目標

○表・写真・図・グラフの意図と効果という点に着目し、児童が考えた説明の工夫を交流することにより、考えを深めることができる。

(2) 本時の指導にあたって

・表、写真、図、グラフの効果について、話し合う場を設定する。話し合いの中で、新たな気づきがある場合には、メモさせ、自分の考えを広げたり深めたりさせる。

(3) 展開

段階	学習活動・学習内容	指導上の留意点・評価
つ か む ・ 見 通 す 5 分	1 前時の学習を振り返る。 ・説明の工夫について(表・写真・図・グラフ) 2 本時の学習課題を確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> 友達と意見交流をしながら、筆者の説明の仕方の工夫を考えよう。 </div> 3 課題解決の見通しを持つ。 ○グループ学習(3人)で考えを交流することを確認する。	・学習計画を基に、単元における本時の位置付けを確かめて学習課題を確認する。
深 め る 学 び 合 い の 場 30 分	4 学び合う (1) 説明の工夫と効果について、グループで話し合う。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> ○表 ○写真 ③図 ④グラフ </div> (2) 説明の工夫には、どんな効果(よさ)があるのかを全体で話し合う。 ○表→写真→図→グラフの順に話し合う。 〈表〉・具体的な数値があるので分かりやすい。 ・資料に客観性があり、信用されやすい。 〈写真・図〉 ・写真があるとどのようなものかがよく分かる。具体的にイメージできる。 〈グラフ〉 ・見ただけで、差や変化が分かりやすい。 ・資料に客観性があり、信用されやすい。	・表、写真、図、グラフの4つについて、話し合いを進める。 ・あらかじめ記入してあるカードをもとに、グループ全員が発表するようにする。 ・グループでの話し合いで新たに気づきがあった場合は、自分のカードに記入させる。 ・表、写真、図、グラフは、それぞれの段落について書かれているのか、そこからどのようなことが読み取れるのかを確認していく。 ・写真や図がある場合とない場合では、理解に違いがあることに気づかせる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <評価> 筆者の説明のしかたの工夫を見つけることができる。 <div style="text-align: right;">(発言・ノート)</div> ・個への支援：友達の発言の中から、自分で気がつかなかったよさを記入するにはたらしきかける。 </div>

<p>ま と め る 10 分</p>	<p>5 学習のまとめをする。 ○学習したことを振り返る</p> <p>6 本時の学習を振り返る (1) 自己評価をする。 ＜自己評価の観点＞ ・表や図などを使う効果（よさ）が分かったか。</p> <p>(2) 学習感想を書く。 ＜学習感想の観点＞ ・自分が意見文を書くときに、生かしてみたい工夫について。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・図表や写真を取り入れることで、説得ある文章を書くことができること、次の学習では、筆者が使った工夫を取り入れながら書くことを確認する。 ・今日の学習を通して、身につけた力が実感できるように二項目の観点で振り返りをさせる。 ・次時は、～の学習であることを確認する。
---	---	---

5 板書計画

天気を予想する

武田康男

課題

友達と意見交流しながら、

筆者の説明の仕方の工夫を考えよう

表

- ・ 数値があり、分かりやすい。
- ・ 客観性があり、信用できる。

図 写真

- ・ 分かりやすい。
- ・ 具体的にイメージできる。

グラフ

- ・ 差や変化が分かりやすい。
- ・ 客観性があり、信用できる。

まとめ

表・図・写真・グラフをと入れることで、説得力のある説明文をかくことができる。